

障害者自立支援機器等開発促進事業

令和8年度当初予算額 0.7 億円 (0.7億円) ※ ()内は前年度当初予算額

※令和7年度補正予算額 2.4 億円

1 事業の目的

本事業は、**障害者の自立や社会参加等の促進に資する支援機器の開発及び普及促進の取組に対して補助**を行う。

支援機器の開発においては、市場が小さく個別的で多岐にわたる製品が求められることから、機器開発企業が着想段階から事業化を検討する際に支援するための人材を育成し、障害者のニーズと開発者のシーズのマッチングを図ることで障害に応じた機器開発が可能となるよう支援する。

普及促進の取組においては、支援機器の特徴や使い方等の情報を整理して広く情報発信することにより、支援機器の利用促進を図るとともに、実際に支援機器を使用してその効果を実証することを通じ、より障害者に適した製品となるよう改良を図り、支援機器を利用した障害者の社会参加等を促進する。

2 事業の内容

(1) ニーズ・シーズマッチング強化学業

多様化するニーズに応じたニーズリストを作成するとともに、障害者等や医療福祉専門職等の使用者が抱える要望（ニーズ）と、開発機関や研究者などの支援機器の開発者が保有している技術（シーズ）のマッチングを図る。

また、開発支援コーディネータ（製品化・事業化に向けた伴走支援者）を育成し、製品化・事業化を加速させる。

(2) 自立支援機器開発事業

実用的な支援機器の開発を行う企業に開発費用の一部を補助する。

(3) 支援機器普及啓発促進事業

障害者等が真に必要な製品を選択し、適切に使用できるよう機器の特徴や使い方等を普及・周知することで支援機器の普及を加速させる。

(4) 自立支援機器導入実証モデル事業

障害者等を雇用している企業等において実際に支援機器を導入し、その効果（試用効果及び改良の示唆）について実証を行うことにより、障害者等の就労支援を促進する。

障害者自立支援機器等開発促進事業

3 事業のスキーム

(1) ニーズ・シーズマッチング強化事業

開発プロセスを体系的に学ぶワークショップ



(支援者ルート)

開発支援コーディネータ研修
(伴走支援者の育成)



(開発者ルート)

厳選された開発チーム



ニーズ・シーズマッチング

ニーズ
(ユーザー・支援者)

シーズ
(開発・研究者)



ニーズの把握・特定、コンセプト生成

(4) 自立支援機器導入実証モデル事業

厚生労働省

補助

民間団体

- 開発・企業と雇用企業等、マッチング支援
- 導入効果情報の集約及び効果に基づいた普及・広報
- 支援機器の開発プロセスを備えた人材を養成

調整

報告

開発企業



- ◎ 支援機器の製造・改良

仲介者



- ◎ 実証評価の実施
- ◎ 適合のポイント、機器改良等のフィードバック

実証の場



Aチーム

Bチーム

Cチーム

(2) 自立支援機器開発事業

支援機器の開発を支援

モニター評価を通じた開発・改良

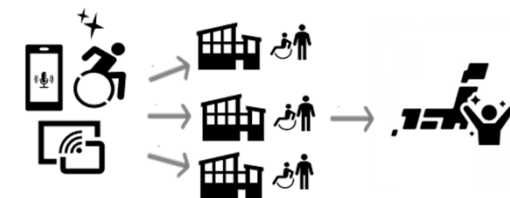


試作機開発、実証実験、製品化

(3) 支援機器普及啓発促進事業

全国で製品化した機器の普及を促進

支援機器の情報を広く発信、障害者の適応や調整を実施



製品の普及

4 実施主体

民間団体（公募）

5 補助率

(1) (3) (4) : 定額 (10/10相当)

(2) : 中小企業 2/3、大企業・公益法人 1/2 (※製品種目特定型事業は初年度のみ10/10)